

## 別所町住民説明会会議録（全文）

平成28年1月31日 午後1時30分～午後3時 場所：別所町公民館

市側出席者：並河市長、川口特命参与、井上課長、山下係長

### 天理市長資料説明

地 元：場所の選定についてですが、他の市町村が積替施設を設け、そこから大型のトラックに積み替えて持って来るのであれば、天理も同じようにすれば、山間地が年に数回大雪の時に通行止めになったとしても、一時貯留施設を造っておけば数日間貯留可能で、山も候補地を設ける事が出来ない事はないと思います。広域化すれば、それによって県も補助金を出してくれるという事であれば、天理市内だけ候補地を選ぶのが妥当であるはずがないと思う。県を巻き込むのであれば、計画人口が非常に巨大だった時代に造った第一浄化センター、第二浄化センターは施設の面積が過大になっているから、今の人口予測上、全ての用地が下水処理場に必要ないんだから、県を巻き込んだら、その計画当時には必要だと思われていたが、今が必要でなくなっている用地を焼却場に転用してもらったら、第一浄化センターは今都市公園になっているが、第二浄化センターの空き地は都市公園にもならないで、荒地のままのはずだからそこを使うとか、たくさん高校も廃校になってきているので、その高校の廃校になったものを県から譲ってもらったら、他の場所にも設置出来るはずだと思います。何もこんな市街地に隣接した所を使わなくても、市街地に隣接していない山間地、田んぼの真ん中にポツンと建っている高校の廃校、こんな所を利用したら周辺の住民が心配する必要の生じない候補地、他にあるはずだと思いますが、何故天理市だけから選定されたのか。

市：今、仰っていただいた点について、田んぼの中の高校という事ですが、それもその田んぼの皆さんからすれば、うちの田んぼの近くにという方が当然出てくる事です。そこはそれぞれにそういった声というのは出てくる状況ではあると思います。結局実際に水とか空気とか他の交通に対する影響だとか、本当に皆さんのご懸念が実生活の上で影響を及ぼすのかどうかというところについて、我々はきちんとご説明しないとイケないと思いますし、その点で言えば日本全国至る所色々な条件の所に建っているという事です。その中で天理の中で、確かに積込施設と焼却施設というのは、理論上あり得るかもしれませんが、2つの施設を建てないとイケないというのは非常に高コストになってくるところはありますし、また高原の方に道路が接続できて・・・出来る見込みがあつてという土地があれば、またこれは考える事もあるかと思いますが、今現在あるとしても、旧福祉センターの前のグラウンドがありますが面積的には全然足りない、山間の方であれば相当の造成をすることでなければ土地の確保は出来ないというふうに思っております。ですから山間に候補地があるのにここにしたという事ではなくて、山間にある程度造成も済み地権者の理解を得られるような場所が見当てっていないという状況です。それと共に天理以外も含めればあり得るのではないかとというようなご指摘だったかなと思います。それはもっと早い段階で5年とか10年前に天理市が本気になって新しい施設というのをもっともっと検討していれば、そういう状況というのも出ていたかも知れませんが、今とにかく平成36年の段階では炉の稼働停止年数を迎えてしまう、あその候補地を選定して環境影響評価を来年度から始めていっても、ようやく平成35年という状況です。他の10市町村の中でうちの候補地もあるよという事があれば、例えば高田だったり、広陵だったり比べた時に、どこにしましょうという事もできますけども、今回元々うちでどうにかしないといけないと

いう差し迫った状況で候補地を選んだ。大きくなれば面積も大きくなる訳ではなく、うちの今の規模の施設、1日処理が120t程度見込んでいるが、それを造ったとしても焼却場だけで10,000㎡位の場所が必要になります。まずうちが候補地を選んでそこで造ろうという決断を下した。その上でどうせ造るのであれば色んなコストの点で言っても、また環境負荷の点から言っても広域にした方がよりよい施設が造れ、また電力、熱の利用もできるという事で、県の方から話を各市町村に照会をしていったところ、10の市町村になったという事です。それで今10の市町村になったので、改めて高田、広陵の中で本当にそういう場所がないかというような議論が始まっていくとしたら当然それには数年間以上、おそらく年数はかかるという事です。私共はそれを当てにする事はできない状況でございます。今まっさらな中で、高田市でクリーンセンターの候補地を探すみたいな事言われたら、高田市さんで勝手にやって下さいと、天理は天理で、ここでやりますというふうにならざるを得ないという事です。もちろん将来的には、永遠に使える施設では無いのでその時点で又新しい施設を建てないといけないという事になった時には、もちろんこの10の市町村の枠組みの中で、今より技術は大分進んでいるでしょうけども、どこにしましようという議論にはなってくるかなと、ただ今の状態では私共としては、この候補地の所でやるという前提の下でチームを組んでいったという事です。

地 元：第二浄化センターの空き地を使わないなんて、県にはお願いに行っただけでしょうか。

市：私共として具体的に、第二浄化センターの所を使わせて下さいという交渉をしたわけではありませんけども、そういうふうに何故今の候補地と第二浄化センター、第二浄化センターの周りにもそれぞれの市民の皆さんがいらっしゃる訳でございます。・・・。

地 元：複数の候補地から適当な場所を、地域振興策とセットで提案すれば、地域振興が必要だから受け入れるっていう地域も出てくるかもしれないのに、どうして地域振興と迷惑施設のセットで複数の場所を提案して受け入れてくれる所を選ぶというような作業を端折って、嫌われる施設をピンポイントで決めるという必要があるのか、前の南市長はもう既に余分にたくさんのコストをかけながら現有施設を延命化すると決めたのに、それで・・・。

市：そこについてはその後、15年後にはどうするかという目途は全く立っていなかったんです。そういう中で15年の部分に対して40億円以上のお金を突っ込むというのは、予算の点では非常に無駄ですし、それと共に責任ある施策とは言えないと考えております。

地 元：前の市長の方針を変えるのは、新市長だから別の考えで出されるのは全く問題ないと思いますけど、適切な候補地の選定をなさっておられないという事。

市：それについては改めて天理市内で色々検討した部分というのが、今と同じようにご質問いただいた中で出した紙もございますので、またお配りもさせて頂きたいと思っております。

地 元：僕は去年の5月、6月位に市役所で聞いたけども、具体的な候補地の選定箇所というのは、天理教に頼んで天理教が譲ってくれる場所を選定しただけで、他に複数の候補地を探す事はしなかった。

市：そういう事はありません。先程私も中身としては触れさせて頂きましたが、項目としては2ページの所に挙げさせて頂きました。その上で今のクリーンセンター敷地の中、そしてその周辺地域、高原地域で出来ないか、市平坦部で他にないかという事を探していった上で、ただその一定面積を確保できるのは、最終的にここしかないという結論に達したという事です。その時にどの職員にお尋ねになったのか、言った言わないみたいな事をこの場で議論させて頂いても仕方ない事ですけども、市行政として今日、私と本件についての担当者、責任者が全員来ていますが、私共として比較検討した中で平成36年に今の炉が使えなくなる前に、この面積を確保できる場所はないかという事で探していたところ、今の候補地が唯一実現可能な場所として出てきたという事でございます。

地 元：甘いんですよね。決定の方法が。

市：そうなった時に、では何故この場所が候補地であれば、反対でという事ですかという具体的な理由というのを、私共はずっと訪ねておまして、その上で今櫛本校区の自治会長の皆様方、地権の方、底地で言えば岩屋ですがその皆様方に、もちろん色んなご意見の方がいらっしゃるんですが、全体としては理解が進んできているというふうに認識をしております。仰っていただくのは、迷惑施設という言葉も使われましたが、どういった点でここだったら反対だというふうに仰られるのかという事をお聞かせ頂ければ。

地 元：もう少し適切な場所が他にあるはずなのに、安易に用地取得が容易な場所を選んでおられると。

市：用地取得についてのプロセスが問題だと仰っておられるのか、それともその先に例えばご自身の住居だとか、あるいは農地とか色んな状況の中で、空気が心配、水が心配だとそういった事であれば、それにお答えする義務があると思っています。何故そういったご質問をされるのでしょうか。

地 元：環境負荷の健康さえ必要のない山間地に余っている公共用地がある筈なのに、検討されたんですか。

市：今の事を福住校区の方の前でされますか。

地 元：複数の候補地をどうして選定しないで、いきなりあの場所だと決めたんですか。妥当性が足りないと言っているんです。

市：ですからそれについては環境基準、今後更に厳しくした自主規制、またその情報公開、そういった事について今後4年間環境影響評価といったものを行って行かないといけないので、私共こういった機会を持たせて頂こうと思っております。ただそれは、そういうふうに仰る中身ですね、福住校区の皆さんにとっては福住校区色々なご意見がある中でどこかに必要な施設なんです。

地 元：人間の住んでいない場所があるでしょう。

市 : どこですか。

地 元 : 天理ダムの辺りもっと人数少ないでしょ。

市 : 人数が問題だと仰るんですか。それで申し上げますと、結局今多くの施設がそれこそ先程紹介させて頂いた半径500mに何千人、何万人がお暮らしの場所がある訳です。

地 元 : わざわざ人口の密集地を選んだのではなくて、そういう密集地以外にも候補地がない場所は密集地に建てているのではないか。

市 : 条件をやっていた時に、ここの候補地となっていたわけで、ここが密集地と言えるかどうかという事も、これは見方によって議論が分かれますが、これよりもはるかに密集した地域にも多くの自治体のクリーンセンターがあるという事はご理解頂きたい。天理ダムの方へ持って行ったら又そこでは丹波市校区、山の辺校区の他の町もある訳です。何故そこがという事を仰っているのかという具体的なご質問の中で我々お答えをしていくという立場でございます。

地 元 : 納得できません。市長の裁量でそこを決定すると仰って、他の市町村は負担なく乗せてもらえるのだったら、手挙げれば乗せてあげると言ったら乗って来ると思います。

市 : ですからその納得がいかないと仰るには、何か背景にある理由があると思います。

地 元 : 前市長が決めていた方針をひっくり返したのは新市長の考えだからそれはいいとして、時間が短いから簡単に場所決めました。ごめんなさいと、そんな進め方は良くないと。

市 : ですから誰がという事ではなく、現実に関今の施設が稼働出来なくなる時期が近づいてきている、その中で市行政として皆さんからお預かりしている公金を極力、有効に活用させていただくには、この場所で、広域化でやる事は最も良いであろうという事で決定させて頂いたという事でございます。私は決して責任感がない市政だとは思っておりませんし、私も他の所で多く言われました。お前みたいなのは、他所者で腰かけやから、こういった所に安易に持って来るのだろうというようなご指摘でした。もし私が10年先、後は野となれ山となれと思っているような人間であれば、修理をするという方が楽なんです。こういった説明をする機会を待たせて頂く必要もございません。しかし修理をするという事は、その後どうするかという事もきちんと考えておかなければならない。しかも10年も前に考えておかなければいけない。しかも修理をすると言っても、新設をするより高いお金がかかっていってしまう、それが皆さんからお預かりした公金です。そういった事の中で私はこれをしっかりやらせて頂くという事が、将来の天理市にとって非常に重要であるというふうに判断をさせて頂いた訳です。そういった事について、是非地域の皆さんご理解を得たいと思っております。その上で何が地元振興の上で具体的な事についてはどんどん伺いたいと思っておりますし、なおこの部分が心配だ、こういう点はもっと明らかにして欲しい、もっとそこは精度上げて欲しい、こういった事を伺いながら具体的な施設については考えていきたいと考えております。地価がという事も言われた事もございますし、それについて言えば井戸堂校区の西方に新興住宅がたくさん建

っている訳でございます。天理王寺線に見に行けば、目の前にクリーンセンターが実際に見えます。路線価で言えば圧倒的に高い所もございます。路線価にしても周辺の環境によって変わって来る、そこから言えば、この候補地周辺というのは交通量に比して言えば、陸橋も含めて非常に道路が整っている。将来あれが維持管理できるかという事でございます。あれだけ整っている道路、道路の割にはそんなに通っていない。それが今の状況だったら公金をかけるという判断は非常に難しかったとしても、10の市町村にとって1番大切な施設が来るとなれば、やはりその周りの維持管理もやらなければいけないという事になってくる訳で、私は地域の振興への決して迷惑、マイナスばかりでない。これを10の市町村の中で天理が持っているという事自体が、今後の天理にとってプラスに働いて行くようにしっかりやっていく事が私の責任だと思っています。

地 元：一応予定していた時間も3時という事でございます。一部まだ納得されていない方もあると思いますが、ごみ処理というのは先程市長からも説明ありましたように、自分達が出したごみは誰かがどこかで処理しないとという施設でその施設が全く公害や、いわゆる悪者扱いされないような環境評価をして造りましょうという事ですので、皆様のご理解とご協力を出来るだけ賜った中で、今度は一旦造って頂いたら付加価値を付けて頂いて、皆さんが集まってくる地域興しも一つの有効利用にもされたらというような事でございます。もう一つ心配は、人為的ミスです。運転に携わる人の教育とか、そういった事をしっかりして頂いて、立派な施設を立派に運営して頂くという事が大事だと思います。基本的な事ですが、こういう施設については、もう・・・が出来ていますので、今になってそれは問題があるという事なんて、まず官公庁さんだったら殆どない。これから環境アセスメントでその辺も説明される訳ですね、ただ心情的にどうしても迷惑施設であるという事がありますのでね、そういうもの、地域の開発計画等やっぱり一体となって、現状の開発計画、総合計画と矛盾してないかというのがありますけれども、今後の問題としてその辺をきっちり説明して、そういう地域になるんだという、もっと統一的に開発計画なり一体としてやったら、もっと皆さんにご理解を頂けるのではないかと。もう一つ心配なのは最終処分ですね。今山添でやっている、或いは大阪湾フェニックスへ処分すると仰っていますが、それも多々ありますのでその辺がちょっと心配です。奈良市のごみ処分場で岩屋と色々やり合ったというのもございます。特にそっちの方は大きな問題にもと思います。その辺も十分考えて行かないと、又問題が起きる可能性もありますので。

市：本当に重要なご指摘を頂きまして、地域の開発計画のところ、環境影響評価が平成31年までこれから丸4年続いて行きますので、その中でしっかり立てて行きたいと、今どの程度予算を他の自治体も含めて拠出するかを調整して、こういった事だったら、これだけの事ができるというところを、出来るだけまとめて、しかもそれが行政の方だけでという事ではなく、樅本校区、山の辺校区のご代表にも入って頂きながら、そういった振興策の具体化を詰めて行きたいと思っています。それと共に最終処分場については、仰って頂いたように山添の所にも限りがあり、今残量の調査というのをやったところです。今後についても考えて行かないといけないところです。フェニックスも次の期があるのかどうか、これは他の自治体とも交渉をしていかないといけないという事です。この市が汗をかいている分、他の市に頼っているものがあるんだという事をやはりこの広域化の話の中ではご理解を頂けるかと思っています。

地 元：先程の説明の中では候補地と言っておられるが、候補地ではなくてもう決定地という事によろし

いですか。

市：候補地という言い方をさせて頂いたが、これは100%決まった話かと言われます。それに対して、言葉遊びをしているわけではないが、最終的には環境影響評価というのは、この場所でやった場合に春夏秋冬、今の道路とか他の色んな水とかの環境に負荷を与えないで法定基準内に収まるか、あるいはどういう対策を取って行くかというのを審査される事になります。それがOKでなければ建設に入って行けないという事になりますので、今の時点で100%建設する決定地として言えるかという点、現状は仮止めをした状態で、そこでやった場合どうなるかという環境評価をやるという前段階で候補地という言葉を使わせて頂いている。また他の候補地があるのかという点と現実的にはない状況です。蓋然性から言えば現在の多くのクリーンセンターというのは、そういった基準内にしっかりと収まりますので、環境影響評価でダメだという結論になる可能性はほぼないと考えていますが、そういう表現をさせて頂いております。

地元：走行ルートですが、搬入した車は同じルートを通って帰りますか。表を見ていたら、1番と3番は比較的スムーズにいくだろうと思うんですが、2番と4番ですね、岩屋のインターを通る訳でしょう。あそこはご存じだと思うが変速の六叉路になっています。特に2番から側道通って来るのは殆どUターンしてもらわなんですね。4番の車も南から来たら上野方面から下りてくる車と合流して、合流した直後に名阪の下くぐって、途端に停止線がある。あれね、車が多くなってきたら非常に危険かなーと思います。改良の余地があると思います。これ検討課題として下さい。

市：勿論です。これに矢印が書いてあるが、実稼働している車は焼却ごみで7台です。延べで35台になっている状況です。それにリサイクルの車を加えて、著しい増加というのではないと思っています。ただ仰って頂いた時間帯を辿る時に六叉路の部分が危険性が増すという事であってはいけなくて、そのルートについては、事前に交通量の状況も見ながら検討していきたいと思っておりますし、安全対策をとって行くという事は勿論でございます。

地元：資料を持ち帰って読んで頂いたら、また疑問な事も出てくるかと思っておりますので、その時は私の方へ連絡して下さい。市へ問い合わせして回答できるものは回答頂きたいと思っております。

市：検討の経緯とかは他の町に回答したものがあつたので、お届けにあがります。

以上